令和７年度　第１回半田市介護保険運営協議会　会議次第

日　時：令和７年７月３日（木）
13 時 30 分～15 時 00 分
場　所：半田市役所　大会議室

1　はじめに

（1）委員の変更について【資料１】

2　議事

(1)令和７度半田市介護保険運営協議会の運営について【資料２】

(2)令和６年度半田市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画実績報告【資料３】

(3)令和７年度半田市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画取り組み【資料４】

3　報告

半田市高齢者保健福祉計画第 10 期介護保険事業計画【資料５】

①高齢者実態調査

②在宅介護実態調査

４　その他

【次回開催予定】令和８年３月２５日（水）

13 時 30 分～

半田市役所大会議室

資料１

第１３期半田市介護保険運営協議会委員名簿

番号	新再	氏　名	所属団体等	役職等	選出区分	地密部会	包括部会
1	新	中條（ちゅうじょう）　武秀（たけひで）	半田市医師会	会　長	関係機関代表者	-	-
2	新	村井（むらい）　裕介（ゆうすけ）	半田歯科医師会	公衆衛生部　理事	〃		○
3	再	服部（はっとり）　聡（さとし）	知多薬剤師会	会　長	〃	○	
4	新	藤條（ふじえだ）　開（かい）	半田市介護認定審査会	会　長	〃	○	
5	新	榊原（さかきばら）　肇（はじめ）	半田市社会福祉協議会	会　長	〃		○
6	再	篠崎（しのざき）　誠（まこと）	半田市民生委員児童委員協議会	成岩地区会長	〃	○	
7	新	榊原（さかきばら）　松成（まつなり）	半田市老人クラブ連合会	会　長	〃	○	
8	再	林（はやし）　豊（ゆたか）	認知症の人と家族の会　愛知県支部	世話人	〃		○
9	再	加藤（かとう）　博吏（ひろし）	半田市介護予防・生活支援協議会	委　員	〃		○
10	再	森川（もりかわ）　武彦（たけひこ）	知多中・南部居宅サービス事業者連絡会	施設代表	〃		○
11	新	石澤（いしざわ）　慎吾（しんご）	知多中・南部居宅サービス事業者連絡会	在宅代表	〃	○	
12	再	山﨑（やまざき）　秀和（ひでかず）	半田市居宅介護支援事業所連絡協議会	会　長	〃		○
13	新	石井（いしい）　実希（みき）	地域訪問看護ステーション協議会	会　員	〃		○
14	再	岩橋（いわはし）　平武（ひらたけ）	半田市シルバー人材センター	事務局長	〃		○
15	再	伊藤（いとう）　大介（だいすけ）	日本福祉大学　社会福祉学部	講　師	学識経験者		○
16	新	山﨑（やまざき）　千佳（ちか）	愛知県半田保健所　健康支援課	課　長	関係行政機関職員	○	
17	新	小笠原（オガサワラ）　潤（ジュン）	半田公共職業安定所	所　長	関係行政機関職員		○
18	再	榊原（サカキバラ）　かおる	一般公募	-	市民の代表	○	
19	再	江口（エグチ）　澄子（スミコ）	一般公募	-	〃		○
20	新	新實（ニイミ）　ゆかり	一般公募	-	〃		○

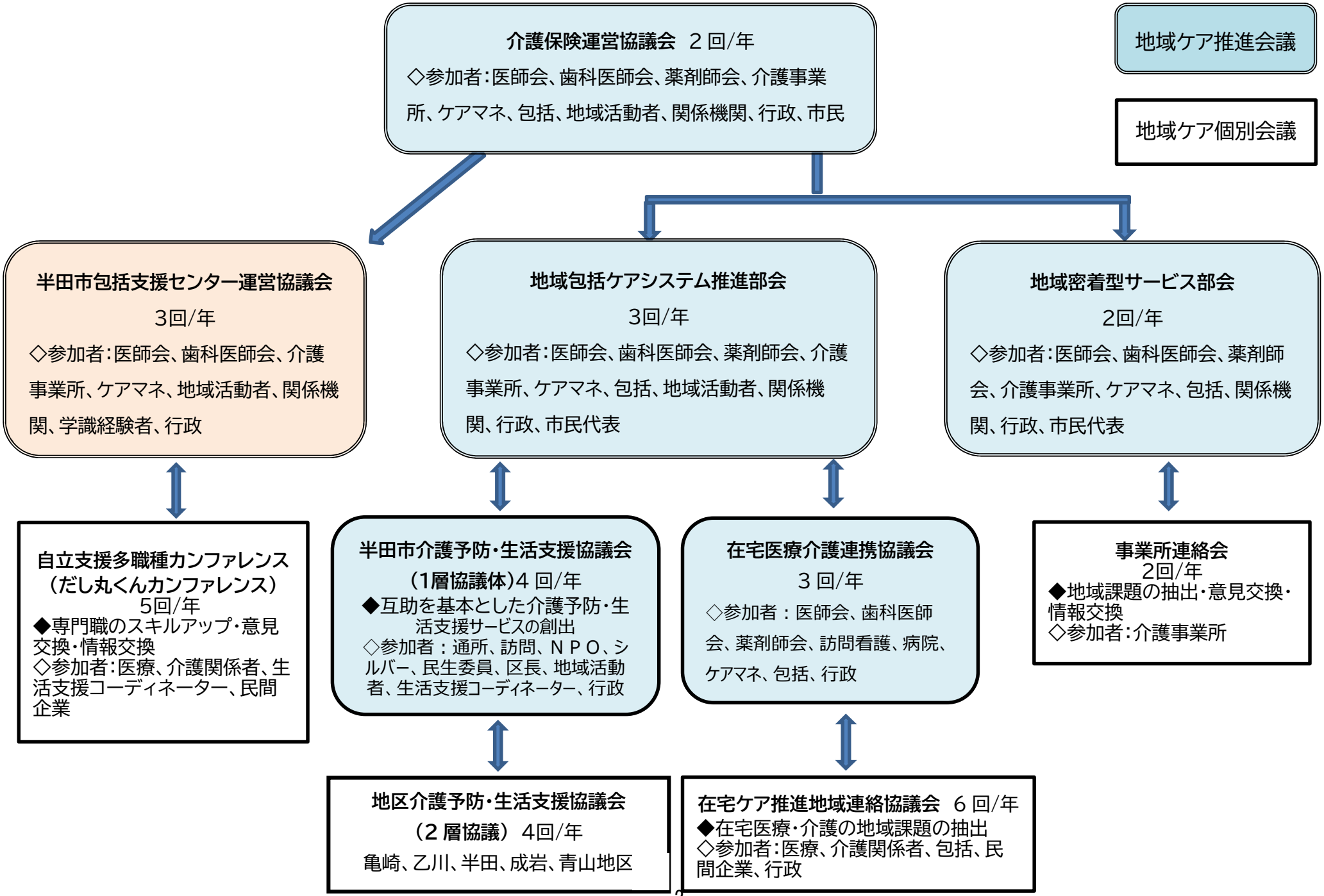
※ 敬称略、順不同

「新」･･･新任委員 「再」･･･第１３期からの再任委員

委嘱期間:令和６年６月２６日から令和８年６月２５日

資料２－１

＜令和７年度　地域包括ケアシステム推進体制について＞



資料２－２

半田市介護保険条例（抜粋）

平成１２年３月３１日条例第２１号

第５章　介護保険運営協議会

（設置）

第１３条　介護保険の運営が、円滑かつ適切に行われ、市民の意見を十分反映したものとなるよう、その基本方針及び諸課題を調査審議するために、半田市介護保険運営協議会を置く。

第６章　雑則

（規則への委任）

第１４条　この条例に定めるもののほか、必要な事項は、規則で定める。

半田市介護保険運営協議会規則

平成１２年３月３１日規則第１５号

（趣旨）

第１条　この規則は、半田市介護保険条例（平成１２年半田市条例第２１号）第１４条の規定に基づき、半田市介護保険運営協議会（以下「協議会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（所掌事項）

第２条　協議会は、次に掲げる事項について調査審議する。

一　介護保険事業計画及び老人保健福祉計画の改定に関する事項

地域包括ケアシステム推進部会

二　介護保険に関する条例、規則の制定及び改廃に関する事項

三　介護保険特別会計の運営及び保険料の改定に関する事項

四　介護サービスの向上及び苦情処理に関する事項

五　介護保険地域密着型サービスの運営に関する事項

地域密着型サービス部会

六　前各号に掲げるもののほか、市の介護保険に関する施策の実施状況の調査その他重要事項

（組織）

第３条　協議会は、委員２０人以内をもって組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

一　学識経験を有する者

二　市民の代表

三　関係機関の代表者

四　関係行政機関の職員

３　委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長）

第４条　協議会に会長を置き、委員の互選により定める。

２　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

３　会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

（会議）

第５条　協議会は、会長が必要に応じて招集し議長となる。

２　協議会は、委員の過半数が出席しなければ､会議を開くことができない。

（専門部会）

第６条　協議会に、介護保険地域密着型サービスの運営等、専門の事項を調査審議するために、専門部会を置くことができる。

２　専門部会の委員及び部会長は、会長が指名する。

３　専門部会は、部会長が必要に応じ招集し議長となる。

（関係者の出席）

第７条　協議会及び専門部会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

（庶務）

第８条　協議会の庶務は、福祉部高齢介護課において処理する。

（その他）

第９条　この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附　則

この規則は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則（平成１８年３月３１日規則第２８号）

この規則は、平成１８年４月１日から施行する。

附　則（平成２７年２月２７日規則第４号)抄

この規則は、平成２７年４月１日から施行する。

資料２－３

令和７年度　半田市介護保険運営協議会　開催予定について

〇令和７年度（年２回）

第１回　令和７年　７月　３日（木）１３時３０分～
・第９期計画　令和６年度実績報告
　　令和７年度取り組み

第２回　令和８年　３月２５日（水）１３時３０分～
・第９期計画　令和７年度部会実施報告

部会の開催について

〇地域密着型サービス部会（年２回）

第１回　令和７年　７月　３日（木）１５時～　※追加

第２回　令和７年１０月１０日（金）１４時～

第３回　令和８年　２月　６日（金）１４時～

〇地域包括ケアシステム推進部会（年３回）

第１回　令和７年　７月３０日（水）１４時～

第２回　令和７年１１月　６日（木）１４時～

第３回　令和８年　２月　４日（水）１４時～

資料３

令和6年度第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価結果一覧表

数値目標があるものは、達成率（◎：80%以上、○：60～79%、△：30～59%、×：29%以下）により評価
数値目標を設定していない場合は、「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」の指標により評価

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（１）生きがいづくりと社会参加の促進 高齢者が年を重ねても元気にいきいきと暮らせるように地域での活動や就労を通じて長年培った知識や経験を活かした活動ができるよう支援している。定年延長や趣味のサークルなど高齢者の居場所の多様化により選択肢が増えた影響で、老人クラブは年々会員数が減少し、シルバー人材センターの会員数は微増であることから、活動内容のＰＲや新たな就業機会の拡大等により新規会員登録を促進していく必要がある。	（１）生きがいづくりと社会参加の促進 【老人クラブ】 活動内容のＰＲ、新規会員加入促進の支援 【シルバー人材センター】 就業機会の拡大、新規会員登録の促進支援	（１）生きがいづくりと社会参加の促進 【老人クラブ】 令和6年度目標…会員数2,703人 【シルバー人材センター】 令和6年度目標…会員数570人	【老人クラブ】 ・会員数…1,665人（令和７年３月31日時点） ・市報の掲載…年１回（3月号） ・市ホームページの掲載 ・活動費の一部を助成 【シルバー人材センター】 ・会員数…553人（令和７年３月31日時点） ・市報の掲載…年２回（10・1月号） ・公共施設でのPRチラシの設置 ・運営費の一部を補助	△	【老人クラブ】 高齢者の居場所の多様化や役員のなり手不足等により会員数が年々減少しているため、老人クラブの活動等のPRや役員の負担軽減等の支援を行う。 →令和７年度目標…会員数1,665人 【シルバー人材センター】 定年延長により新規会員の伸び悩みがあるため、活動内容を広くPRし、少しでも興味を引く広報をし、団体を支援していく。
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	(２)介護予防の推進 年齢とともに心身や認知機能、活力が低下した虚弱な状態（フレイル）は、病気ではないものの介護が必要になりやすいため、早めに予防に取り組むための環境整備が必要である。 また、認知機能の低下は早期発見・早期対応とともに、認知症が診断された後も進行を緩やかにする等、重症化予防も進める	（２）介護予防の推進 【脳とからだのトレーニング教室】 公文学習教材やコグニサイズなどの認知機能低下予防プログラム、体操やレクリエーションを行い、脳と身体を活性化する認知症予防教室の実施。 【通所型サービスB（地域支え合い型）】 ボランティアグループが体操、レクリエーションを行い、要支援の認定を受けた方などが機能回復のために参加する場へ補助金を交付する。 【通所型サービスC（運動特化型）事業の実施 リハビリ専門職による短期集中の運動機能向上プログラムを提供し、心身機能の維持・改善を目指します。	（２）介護予防の推進 【脳とからだのトレーニング教室】 令和6年度 開催会場　６会場　参加延人数　1,440人 【保健事業と介護予防等の一体的実施】 (A) 個別的支援（ハイリスクアプローチ） 実施者数　200人 (B) 健康教育実施回数　80回 【通所型サービスB（地域支え合い型）】 令和6年度補助交付見込　85団体 【通所型サービスC（運動特化型）事業】 利用延べ人数　1,530人　実施事業所数　14事業所	【脳とからだのトレーニング教室】 令和6年度 開催場所　　6会場 参加延人数　805人 【保健事業と介護予防等の一体的実施】 令和６年度実績 （A）個別的支援（ハイリスクアプローチ） 実施者数　201人 （B）健康教育実施回数　91回 【通所型サービスB（地域支え合い型）】 令和６年度交付実績 85団体 【通所型サービスC（運動特化型）事業】 利用延べ人数　1,963人　実施事業所数14事業所	○	【脳とからだのトレーニング教室】 ・予定した全6会場で開講することができたが、参加者が伸び悩んだ。コグニサイズの実践を目的とする参加者も多いため、周知方法を見直すとともに、教室の内容を再検討し市民のニーズに則した教室とする。 →令和７年度目標　開催会場　5会場　参加延人数　1,200人 【保健事業と介護予防等の一体的実施】 ・後期高齢者の中には、一定数支援が必要な方がいるため、よりリスクの高い「健康状態不明者」や「低栄養リスク者」へ訪問・電話等の個別的支援を行う。 ・高齢者のセルフケアの行動を促進し、介護予防・フレイル予防を推進するために、引き続き地域の通いの場等で保健師・管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士等の医療専門職の健康教育を実施する。 →令和７年度目標（A）個別的支援（ハイリスクアプローチ） 実施者数　220人 （B）健康教育実施回数　83回 【通所型サービスB（地域支え合い型）】 ・要支援者等に重症化予防を行う団体への補助をより広く行えるよう、補助内容の精査を行う。 →令和７年度目標値：令和７年度交付見込　86団体 【通所型サービスC（運動特化型）事業】 ・早期に介護予防できるよう、地域包括支援センターと協働で、事業の周知及び新規利用者の獲得に努める。 →令和７年度目標　利用延べ人数2,328人

令和6年度第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価結果一覧表 数値目標があるものは、達成率（◎：80%以上、○：60～79%、△：30～59%、×：29%以下）により評価
数値目標を設定していない場合は、「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」の指標により評価

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（１）安心して暮らし続けるための支援 高齢者が地域で安心して暮らすためには、生活に必要なサービスを検討実施することが必要であるため、配食やごみの訪問収集など、生活支援と安否確認等を目的としてサービスを提供してする。 病状の回復等により必要なくなる場合もあるため、一定期間経過後の再アセスメントをしつつ、サービス終了となった高齢者についても、必要に応じて見守りを行う必要がある。	（１）安心して暮らし続けるための支援 必要な高齢者が適切にサービスを受けられるように周知を行う。また、申請時の身体状況等を確認しつつ、必要に応じて再アセスメントを行う。また、企業等と締結している「半田市地域見守り活動に関する協定」などにより高齢者の見守りを行う。	目標値は設定しない	対象者要件に照らし合わせ適切に要件の可否判断を行い、事業実施できた。 また、病状の回復等により対象者でなくなった利用者がそのまま利用をしていないか確認するため、申請から一定期間経過後に再アセスメントを行った。 配食、ごみの訪問収集、「半田市地域見守り活動に関する協定」などにより高齢者の見守りを行った。 【配食サービス事業】 ●令和6年度実績 実利用者数　78人 延べ配食数14,865食 【訪問収集事業】 ●令和６年度実績 利用者数（年度末）　260人	○	引き続き、一定期間経過した利用者が対象者要件を満たしているか再アセスメントするとともに、サービスについて広くPRし、必要な方が必要なサービスを受けられるようにする必要がある。
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（２）住民相互の支え合い（生活支援コーディネーターとの地域づくり） 高齢者の生活をさせるためには、医療・介護の分野だけでなく身近な住民同士がちょっとした助け合いや見守り等を行いやすい仕組みづくりが必要である。	（２）住民相互の支え合い 生活支援コーディネーターを配置し、介護予防・生活支援協議会（第１層・第２層）の開催・運営など、地域組織やボランティア、民間企業の地域貢献事業など多様な主体が介護予防・生活支援サービスを提供できる地域の活動を推進・促進する。	（２）住民相互の支え合い 住民、ボランティア、地域の助け合い組織などによって生活支援や介護予防が提供される地域づくりを目指し、生活支援コーディネーターを中心に地域課題、ささえあい活動の推進を行う。	1層、2層の介護予防・生活支援協議会を予定通り開催。第3期各地区のささえあい活動計画（2025年～2031年）を地域住民と協働で策定することができた。 R6年度は、広い世代で参加できるイベントとして、R4・５年度に好評だった、ごみを拾いながらウォーキングするプロギング、多世代で交流し地域を知るまちあるきを開催した。	◎	地区のアンケート調査から第3期各地区のささえあい活動計画を知らない人が多かったため、活動と通じて広く周知していく。 イベント参加者は年々増えているが、毎回同じ人が参加しており、誰もが参加できるよう周知方法等を検討していく必要がある。
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（３）地域における見守りと災害支援 地域での日ごろからの見守りや災害時の支援体制など、様々な場面を想定し、誰もが安心して暮らせる環境づくりが必要である。	（３）地域における見守りと災害支援 【地域の見守り】 企業等との見守り協定や、行方不明者の探索など、地域で安心して暮らすことができる環境を整備に努める。 【防災対策】 高齢者や障害のある方など、災害時に安心して避難できるよう、災害時避難行動要支援者支援制度充実や福祉避難所等の体制を整備する。	目標値は設定しない	【地域の見守り】 見守り協定や、行方不明者の探索など、地域の方にご協力いただくことで、早期発見につながり、安心して暮らすことのできる環境づくりにつなげた。 【防災対策】 能登半島地震における被災地域の避難所運営について学んだ。	○	【地域の見守り】 協定等を継続し関係者が増えることが、環境の整備向上につながるため、地域や企業のみなさまに引続き呼び掛けていく。 【防災対策】 高齢者や障害のある方など、災害時に安心して避難できるよう、災害時避難行動要支援者支援制度充実や福祉避難所等の体制を整備する。

令和6年度第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価結果一覧表　数値目標があるものは、達成率（◎：80%以上、○：60～79%、△：30～59%、×：29%以下）により評価
数値目標を設定していない場合は、「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」の指標により評価

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（１）市民の理解増進 できるだけ多くの市民に認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深めてもらうため、様々な企画を通して地域の幅広い世代に理解の増進を図る。	【理解増進に関する企画】 認知症をテーマとする市民向け講演会等の啓発イベント等により認知症について正しい知識を普及啓発する。 ・はんだ認知症キラキラオレンジフェス（講演会、展示等） ・はんだオレンジフラワープロジェクト ・認知症安心ガイドブックの作成、周知 ・地域への出前講座 【認知症サポーター養成講座】 認知症を正しく理解し見守る応援者である認知症サポーターを養成する。	（１）市民の理解増進 【理解増進に関する企画】 令和６年度目標 ・はんだ認知症キラキラオレンジフェス 開催回数 1 回、参加延人数 100人 ・地域への出前講座 講座開催回数16回、参加延人数 580人 【認知症サポーター養成講座】 令和６年度目標 開催回数 ５回、参加延人数 100人	【理解増進に関する企画】 ●令和６年度 ・はんだ認知症キラキラオレンジフェス 開催回数 1 回、参加延人数 110人 ・地域への出前講座 講座開催回数12回、参加延人数 356人 【認知症サポーター養成講座】 ●令和6年度 講座開催数 9回 受講者数 400人	○	認知症の理解増進のため、イベントの開催や地域への出前講座等様々な場で対象者に合わせた内容で理解を深めることができている。誰もが認知症になりうることを広く市民へ周知していけるよう、今後も広報に力を入れていく必要がある。 →令和７年度目標 ・はんだ認知症キラキラオレンジフェス 開催回数 1 回、参加延人数 100人 ・地域への出前講座 講座開催回数15回、参加延人数 400人 認知症サポーター養成講座の開催や受講者数は目標より増加したが、認知症サポーターや地域で認知症支援に携わりたいと考える市民が活躍できる仕組みが不十分である。認知症地域支援推進員と協議し、チームオレンジ設置のためにステップアップ講座の開催に向けて動いていく。
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（２）社会参加の支援と相談体制の充実 認知症の人と家族等の視点を取り入れながら、認知症の人も地域に参画できる機会をサポートする。また、不安な気持ちを受け止め、地域において安心して暮らせるよう相談体制の充実、周知に取り組む。	（２）社会参加の支援と相談体制の充実 【認知症の人と家族支援】 ・「ご家族応援プロジェクト」として認知症カフェ等と連携し、初期の認知症の人やその家族を中心に、介護・認知症の基本的な知識と不安を和らげる交流の場、個別相談の場を設ける。	（２）社会参加の支援と相談体制の充実 【認知症の人と家族支援】 令和６年度目標 ・ご家族応援プロジェクト 開催回数 ９回、参加延人数 90人	●令和6年度 【認知症の人と家族支援】 ・ご家族応援プロジェクト 10回、受講者数 118人 認知症介護家族向け講座 認知症カフェとの連携企画 ご自身応援プロジェクト	◎	認知症の方及びその家族を対象に、認知症の基本的な知識や対応方法について学ぶ場を作り、不安な気持ちを軽減できるような内容で実施した。参加者アンケートをもとに、よりニーズに合った内容にしていく。 介護家族の交流会や認知症カフェについて周知はしているが、ハードルが高く参加につながりにくいことがある。認知症カフェの利用者増加のため、写真等を掲載したチラシを作成し、積極的に周知、広報する必要がある。

令和6年度第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価結果一覧表 数値目標があるものは、達成率（◎：80%以上、○：60～79%、△：30～59%、×：29%以下）により評価
数値目標を設定していない場合は、「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」の指標により評価

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	②給付適正化	（１）介護保険サービスの供給体制の整備 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域密着型サービスの充実や、施設整備を推進し、サービスの供給体制を確保する必要がある。	施設整備計画に基づく体制整備	施設整備計画に基づく体制整備：第9期介護保険事業計画期間中に必要な整備を行う。	令和６年度新規施設整備はないが、補助金等を活用して大規模改修（エアコン、浴室など）を実施するなど、施設の維持向上に努めた。	△	施設整備関する相談は継続的に行っているが、人材不足や資材高騰により整備には厳しい状況にある。国等による補助金の活用など、必要な情報を共有しながら計画に基づき体制整備を継続する。
半田市	②給付適正化	（２）介護給付の適正化 ①認定調査状況チェック ②ケアプランチェックの実施 ③医療情報との突合・縦覧点検	①認定調査状況チェック	・委託による認定調査の事後点検実施率：100% ・認定調査員のe-ラーニングシステムにおける全国テスト受講率：100%	・委託による認定調査の事後点検実施率：100% ・認定調査員のe-ラーニングシステムにおける全国テスト受講率：100%	◎	点検等を確実に実施し、適正に介護給付を行う。
			②ケアプランチェックの実施	国保連からリストアップされた事業所の点検実施率：100%	国保連からリストアップされた事業所の点検実施率：100%	◎	点検等を確実に実施し、適正に介護給付を行う。
			③医療情報との突合・縦覧点検	国が費用対効果が高いとして提示した6帳票の点検実施率：100%	国が費用対効果が高いとして提示した6帳票の点検実施率：100%	◎	点検等を確実に実施し、適正に介護給付を行う。
半田市	②給付適正化	（３）介護人材の確保・定着 少子高齢化が進む中、介護保険制度を持続させていくためには人材の確保が重要である。人材確保及び離職予防の方策を検討する必要がある	①地域包括ケアシステム部会の開催・運営 介護人材の確保・定着のため、資格取得・更新に係る公的補助制度の検討制度確立及び予算確保 ②介護職の新規就労等支援及び事業所の連携強化	①地域包括ケアシステム部会の開催　3回／年 ②介護人材フォーラム等の開催　１回／年	①地域包括ケアシステム部会の開催　3回／年 人材確保・定着をテーマに部会を開催し、事業所の声からケアマネ資格に関する補助制度を新設した。 ②介護人材フォーラム等の開催　3回／年 ハローワークと連携し、人材確保について学びながら事業者同士の連携も深める「ケアワーカーズコネクト」を3回開催した。	◎	多くの事業所から「介護のイメージアップ」など広報に関する要望があった。人材確保において重要な課題であるため、年齢層に応じたアプローチを検討する必要がある。

令和6年度第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価結果一覧表　数値目標があるものは、達成率（◎：80%以上、○：60～79%、△：30～59%、×：29%以下）により評価
数値目標を設定していない場合は、「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」の指標により評価

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（１）在宅医療と介護の連携推進 在宅療養を必要とする高齢者、医療や介護に関わる専門職からの多様な相談に応じている。今後はホームページの充実やチラシの作成など、広報にも力を入れていく。 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）の普及については、関心のある市民だけでなく、自分ごととして捉えられるよう、幅広い世代に向けた普及啓発に取り組む。	（１）在宅医療と介護の連携推進 【在宅医療・介護サポートセンター運営】 医療と介護の両方が必要になったときに、住み慣れた場所で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、在宅医療と介護が一体的に提供される多職種連携を推進する。 また、本人やその家族が自ら適切な支援やサービスを選択できるよう、普及啓発に取り組む。	（１）在宅医療と介護の連携推進 【在宅医療・介護サポートセンター運営】 令和6年度目標 相談件数　50件 啓発事業　市民講座1回　参加延人数100人	（１）在宅医療と介護の連携推進 【在宅医療・介護サポートセンター運営】 令和6年度実績 相談件数　26件 啓発事業　市民講座1回　参加人数　35人	○	（１）在宅医療と介護の連携推進 サポートセンターの認知度に課題がある。推進在宅療養を必要とする高齢者や医療や介護に関わる専門職が、必要時にサポートセンターを活用できる体制づくりを行う。 また、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）に馴染みのない市民に対する普及啓発が課題である。誰もが自分ごととして捉えられるよう、幅広い世代に向けた啓発活動に取り組む。 →令和７年度目標 相談件数　25件 啓発事業　市民講座・出前講座等7回 参加人数　200人
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（２）権利擁護に向けた取組み 高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会を設置し、関係機関等の連携強化し対応マニュアルの作成や、困難事例の対応等について協議している。高齢者虐待の防止や早期発見をするために高齢者虐待について市民に周知する必要がある。また、施設職員からの虐待を防止するため、職員に虐待に関する知識や理解を深めてもらう必要がある。	（２）権利擁護に向けた取組 一般市民向けの講演会を開催し、高齢者虐待について学ぶことで虐待防止や早期発見を図る。また施設職員向けの研修会を実施し、虐待に関する知識や理解を深めることで虐待防止を図る。	目標設定なし	【虐待防止に関する研修・講演会】 一般市民、介護サービス事業所職員を対象に虐待防止講演会や研修会を開催した。 ●高齢者・障がい者虐待防止講演会 ・対象：一般市民 ・実施日：令和６年９月26日（木） ・参加者：40名（40代～70代） ●高齢者事業者向け虐待防止研修会（出前研修） ・対象：介護サービス事業所職員 ・実施日：令和６年９月18日（水） ・参加者：１事業所　23名 ●高齢者事業者向け虐待防止研修会 ・対象：介護サービス事業所職員 ・実施日：令和６年10月11日（金） ・参加者：29事業所　40名	○	施設の職員やテーマに関心の高い市民だけでなく、より多くの市民が参加できるような研修会を実施し、虐待に関する知識や理解を広く啓発していく。 また、参加者が学んだ内容を実践で活かせるよう、参加後も継続的な支援を行っていく。

資料４

令和7年度 第9期介護保険事業計画「取組と目標」一覧表

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（１)生きがいづくりと社会参加の促進 高齢者が年を重ねても元気にいきいきと暮らせるように地域での活動や就労を通じて長年培った知識や経験を活かした活動ができるよう支援している。定年延長や趣味のサークルなど高齢者の居場所の多様化により選択肢が増えた影響で、老人クラブは年々会員数が減少し、シルバー人材センターの会員数は微増であることから、活動内容のＰＲや新たな就業機会の拡大等により新規会員登録を促進していく必要がある。	（１）生きがいづくりと社会参加の促進 【老人クラブ】 活動内容のＰＲ、新規会員加入促進の支援 【シルバー人材センター】 就業機会の拡大、新規会員登録の促進支援	（１）生きがいづくりと社会参加の促進 【老人クラブ】 目標会員数1,665人 【シルバー人材センター】 目標会員数570人			
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	(２)介護予防の推進 年齢とともに心身や認知機能、活力が低下した虚弱な状態（フレイル）は、病気ではないものの介護が必要になりやすいため、早めに予防に取り組むための環境整備が必要である。 また、認知機能の低下は早期発見・早期対応とともに、認知症が診断された後も進行を緩やかにする等、重症化予防も進める	（２）介護予防の推進 【脳とからだのトレーニング教室】 公文学習教材やコグニサイズなどの認知機能低下予防プログラム、体操やレクリエーションを行い、脳と身体を活性化する認知症予防教室の実施。 【通所型サービスB（地域支え合い型）】 ボランティアグループが体操、レクリエーションを行い、要支援の認定を受けた方などが機能回復のために参加する場へ補助金を交付する。 【通所型サービスC（運動特化型）事業の実施 リハビリ専門職による短期集中の運動機能向上プログラムを提供し、心身機能の維持・改善を目指します。	（２）介護予防の推進 【脳とからだのトレーニング教室】 ５会場　参加延人数　1,200人 【保健事業と介護予防等の一体的実施】 個別的支援（ハイリスクアプローチ）220人 健康教育実施回数　83回 【通所型サービスB（地域支え合い型）】 補助交付見込　86団体 【通所型サービスC（運動特化型）事業】 利用延べ人数　2,328人 実施事業所数　　14事業所		

令和7年度 第9期介護保険事業計画「取組と目標」一覧表

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（１）安心して暮らし続けるための支援 高齢者が地域で安心して暮らすためには、生活に必要なサービスを検討実施することが必要であるため、配食やごみの訪問収集など、生活支援と安否確認等を目的としてサービスを提供する。 病状の回復等により必要なくなる場合もあるため、一定期間経過後の再アセスメントをしつつ、サービス終了となった高齢者についても、必要に応じて見守りを行う必要がある。	（１）安心して暮らし続けるための支援 必要な高齢者が適切にサービスを受けられるように周知を行う。また、申請時の身体状況等を確認しつつ、必要に応じて再アセスメントを行う。また、企業等と締結している「半田市地域見守り活動に関する協定」などにより高齢者の見守りを行う。	目標値は設定しない			
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（２）住民相互の支え合い（生活支援コーディネーターとの地域づくり） 高齢者の生活をさせるためには、医療・介護の分野だけでなく身近な住民同士がちょっとした助け合いや見守り等を行いやすい仕組みづくりが必要である。	（２）住民相互の支え合い 生活支援コーディネーターを配置し、介護予防・生活支援協議会（第１層・第２層）の開催・運営など、地域組織やボランティア、民間企業の地域貢献事業など多様な主体が介護予防・生活支援サービスを提供できる地域の活動を推進・促進する。	（２）住民相互の支え合い 住民、ボランティア、地域の助け合い組織などによって生活支援や介護予防が提供される地域づくりを目指し、生活支援コーディネーターを中心に地域課題、ささえあい活動の推進を行う。			
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（３）地域における見守りと災害支援 地域での日ごろからの見守りや災害時の支援体制など、様々な場面を想定し、誰もが安心して暮らせる環境づくりが必要である。	（３）地域における見守りと災害支援 【地域の見守り】 企業等との見守り協定や、行方不明者の探索など、地域で安心して暮らすことができる環境を整備に努める。 【防災対策】 高齢者や障害のある方など、災害時に安心して避難できるよう、災害時避難行動要支援者支援制度充実や福祉避難所等の体制を整備する。	目標値は設定しない			

令和7年度 第9期介護保険事業計画「取組と目標」一覧表

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（１）市民の理解増進 できるだけ多くの市民に認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深めてもらうため、様々な企画を通して地域の幅広い世代に理解の増進を図る。	【理解増進に関する企画】 認知症をテーマとする市民向け講演会等の啓発イベント等により認知症について正しい知識を普及啓発する。 ・はんだ認知症キラキラオレンジフェス（講演会、展示等） ・はんだオレンジフラワープロジェクト ・認知症安心ガイドブックの作成、周知 ・地域への出前講座 【認知症サポーター養成講座】 認知症を正しく理解し見守る応援者である認知症サポーターを養成する。	（１）市民の理解増進 【理解増進に関する企画】 はんだ認知症キラキラオレンジフェス 開催回数 1 回、参加延人数 100人 地域への出前講座 開催回数15回、参加延人数 400人 【認知症サポーター養成講座】 開催回数 5回、参加延人数 100人			
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（２）社会参加の支援と相談体制の充実 認知症の人と家族等の視点を取り入れながら、認知症の人も地域に参画できる機会をサポートする。また、不安な気持ちを受け止め、地域において安心して暮らせるよう相談体制の充実、周知に取り組む。	（２）社会参加の支援と相談体制の充実 【認知症の人と家族支援】 ・「ご家族応援プロジェクト」として認知症カフェ等と連携し、初期の認知症の人やその家族を中心に、介護・認知症の基本的な知識と不安を和らげる交流の場、個別相談の場を設ける。	（２）社会参加の支援と相談体制の充実 【認知症の人と家族支援】 ご家族応援プロジェクト 開催回数 9回、参加延人数 90人			

令和7年度 第9期介護保険事業計画「取組と目標」一覧表

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	②給付適正化	（１）介護保険サービスの供給体制の整備 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域密着型サービスの充実や、施設整備を推進し、サービスの供給体制を確保する必要がある。	施設整備計画に基づく体制整備	施設整備計画に基づく体制整備：第9期介護保険事業計画期間中に必要な整備を行う。			
半田市	②給付適正化	（２）介護給付の適正化 ①認定調査状況チェック ②ケアプランチェックの実施 ③医療情報との突合・縦覧点検	①認定調査状況チェック	・委託による認定調査の事後点検実施率：100% ・認定調査員のe-ラーニングシステムにおける全国テスト受講率：100%			
			②ケアプランチェックの実施	国保連からリストアップされた事業所の点検実施率：100%			
			③医療情報との突合・縦覧点検	国が費用対効果が高いとして提示した6帳票の点検実施率：100%			
半田市	②給付適正化	（３）介護人材の確保・定着 少子高齢化が進む中、介護保険制度を持続させていくためには人材の確保が重要である。人材確保及び離職予防の方策を検討する必要がある	①地域包括ケアシステム部会の開催・運営 介護人材の確保・定着のため、資格取得・更新に係る公的補助制度の検討制度確立及び予算確保 ②介護職の新規就労等支援及び事業所の連携強化	①地域包括ケアシステム部会の開催　3回／年 ②介護人材フォーラム等の開催　１回／年			

令和7年度 第9期介護保険事業計画「取組と目標」一覧表

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R7年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（１）在宅医療と介護の連携推進 在宅療養を必要とする高齢者、医療や介護に関わる専門職からの多様な相談に応じている。今後はホームページの充実やチラシの作成など、広報にも力を入れていく。 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）の普及については、関心のある市民だけでなく、自分ごととして捉えられるよう、幅広い世代に向けた普及啓発に取り組む。	（１）在宅医療と介護の連携推進 【在宅医療・介護サポートセンター運営】 医療と介護の両方が必要になったときに、住み慣れた場所で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、在宅医療と介護が一体的に提供される多職種連携を推進する。 また、本人やその家族が自ら適切な支援やサービスを選択できるよう、普及啓発に取り組む。	（１）在宅医療と介護の連携推進 【在宅医療・介護サポートセンター運営】 相談件数　25件 啓発事業　市民講座・出前講座等　７回 参加延人数　200人			
半田市	①自立支援・介護予防・重度化防止	（２）権利擁護に向けた取組み 高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会を設置し、関係機関等の連携強化し対応マニュアルの作成や、困難事例の対応等について協議している。高齢者虐待の防止や早期発見をするために高齢者虐待について市民に周知する必要がある。また、施設職員からの虐待を防止するため、職員に虐待に関する知識や理解を深めてもらう必要がある。	（２）権利擁護に向けた取組 一般市民向けの講演会を開催し、高齢者虐待について学ぶことで虐待防止や早期発見を図る。また施設職員向けの研修会を実施し、虐待に関する知識や理解を深めることで虐待防止を図る。	目標設定なし			

資料５

第9期計画抜粋（P. 90-91）

３　成果指標

基本方針ごとに、３年後にめざす姿を「成果指標」と「目標値」として設定し、その達成度を評価します。

＊８期計画の成果指標とその結果については、P.38「８.半田市における現状と課題」にて確認できます。

基本方針Ⅰ　元気にいきいきと暮らす

成果指標の内容	令和４年度現状値	令和７年度目標値
①　健康状態はよいと思う割合	81.0%	８５％
②　生きがいがある割合	48.8%	５０％

・現状値　：①②高齢者福祉・介護に関するアンケート調査

・目標値　：①健康寿命の指標である主観的健康観について、前期計画の目標値を据え置く。

②社会活動や交流、趣味活動や健康づくりによって得られる生きがいについて設定する。

基本方針Ⅱ　年を重ねても安心して暮らす

成果指標の内容	令和４年度現状値	令和７年度目標値
①　今の生活に満足している高齢者の割合	76.7%	８５％
②　介護サービス以外の支援・サービス利用している割合	26.7%	３３％

・現状値　：①高齢者福祉・介護に関するアンケート調査　②在宅介護実態調査

・目標値　：①現在の生活に対する満足度について、前期計画の目標値を据え置く。

②介護サービス以外の支援・サービスの利用率について設定する。

基本方針Ⅲ　認知症になったときも支えあいながら共に生きる

成果指標の内容	令和４年度現状値	令和７年度目標値
①　認知症に関する相談窓口を知っている割合	23.0%	３３％
②　認知症の人も地域活動に参加した方がよいを思う割合	51.4%	５７％

・現状値　：①②高齢者福祉・介護に関するアンケート調査

・目標値　：①相談窓口の周知について、前期調査の現状値を目標とする。

②認知症の理解促進について、前回調査からの増加ポイントを参考に設定する。

基本方針Ⅳ　支援が必要になったときも安心して利用できる介護保険サービス

成果指標の内容	令和４年度現状値	令和７年度目標値
①　主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけると答えた割合	70.2%	７５％
②　日常生活や健康に必要なことは行政や民間のサービスにて提供されていると思う高齢者の割合	36.3%	４０％

・現状値　：①在宅介護実態調査　②高齢者福祉・介護に関するアンケート調査

・目標値　：①介護と仕事の両立可否について、前期計画の目標値を据え置く。

②日常生活や健康に関するサービスの満足度について、前回調査からの増加を参考に設定する。

基本方針Ⅴ　住み慣れたまちで最期まで暮らす

成果指標の内容	令和４年度現状値	令和７年度目標値
①　かかりつけ医のいる割合	86.1%	８８％
②　人生の最期について話し合いをしている割合	37.2%	４０％

・現状値　：①②高齢者福祉・介護に関するアンケート調査

・目標値　：①健康管理や相談先の有無について、前回調査からの増加を参考に設定する。

②アドバンスケアプランニング（人生会議）の周知度について、前回調査からの増加ポイントを参考に設定する。

基本方針Ⅵ　地域共生社会実現に向けた地域包括ケアシステムの推進

成果指標の内容	令和４年度現状値	令和７年度目標値
高齢者への福祉施策が充実していると思う高齢者またはその家族の割合	36.6%	45%

・現状値　：第７期半田市総合計画　基本成果目標

・目標値　：福祉施策の充実度について、前期計画の目標値を据え置く

令和７年度「高齢者実態調査」（案）について

高齢者実態調査は、介護保険事業計画において定める目標値の達成状況等の検証を通じ、一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価するとともに、第９期介護保険事業計画策定に向けた根拠資料を得ることを目的に、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に基づき、下記のとおり実施しています。

記

１．調査対象者及び調査方法

要介護認定を受けていない６５歳以上で在宅生活している方４，０００人（郵送調査）

２．調査日程

令和７年１０月～１１月頃：調査票配布
令和７年１１月～１２月頃：調査票回収
令和７年１２月～３月：データ入力・分析

３．「高齢者実態調査」調査項目

・家族や生活状況について
・からだを動かすことについて
・食べることについて
・毎日の生活について
・地域での活動について
・たすけあいについて
・健康について
・認知症について
・かかりつけ医や人生最期に望む医療・ケアについて

４．令和４年度実施内容

実施期間：令和４年１１月～３月
対 象 者：要介護認定を受けていない６５歳以上で在宅生活している方
（３，６００人、郵送調査）
回 収 率：５９．４％（２，１４６件）

参考：令和４年度調査票

あなた（調査対象者様ご本人）自身のことについて

Ｆ１　この調査票は、どなたが記入されますか。（○はひとつ）

１．あて名ご本人が記入

２．ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

３．その他（　　）

Ｆ２　あなたの性別をご回答ください。（○はひとつ）

１．男性　　２．女性

Ｆ３　あなたの年齢をご回答ください。（数値を記入）

（　　）歳

Ｆ４　お住まいの地域をご回答ください。（○はひとつ）

１．亀崎　　２．乙川　　３．半田

４．成岩　　５．青山

１　あなたのご家族や生活状況について

問１　家族構成を教えてください。（○はひとつ）

１．１人暮らし　　２．夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）

３．夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）　　４．息子・娘との２世帯

５．その他（　　）

問２　あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○はひとつ）

１．介護・介助は必要ない

２．何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない　⇒　問２－１へ

３．現在、何らかの介護を受けている　⇒　問２－１、２－２へ
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【問２で「２.」「３.」と回答された方がお答えください。】

問２－１　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（○はいくつでも）

１．脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	２．心臓病	３．がん（悪性新生物）
４．呼吸器系の病気（肺気腫、肺炎等）	５．関節の病気（リウマチ等）	
６．認知症（アルツハイマー病）	７．パーキンソン病	
８．糖尿病	９．腎疾患（透析）	10．視覚・聴覚障がい
11．骨折・転倒	12．脊椎損傷	13．高齢による衰弱
14．その他（　　）	15．不明	

【問２で「３.」と回答された方がお答えください。】

問２－２　主にどなたの介護、介助を受けていますか。（○はいくつでも）

１．配偶者(夫・妻)	２．息子	３．娘
４．子の配偶者	５．孫	６．兄弟・姉妹
７．介護サービスのヘルパー	８．その他（　　）	

問３　現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○はひとつ）

１．大変苦しい	２．やや苦しい	３．ふつう
４．ややゆとりがある	５．大変ゆとりがある	

問４　お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○はひとつ）

１．持家（一戸建て）	２．持家（集合住宅）
３．公営賃貸住宅	４．民間賃貸住宅（一戸建て）
５．民間賃貸住宅（集合住宅）	６．借家
７．その他（　　）	

２　からだを動かすことについて

問５　階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（○はひとつ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問６　椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（○はひとつ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問７　15 分位続けて歩いていますか。（○はひとつ）

１．できるし、している	２．できるけどしていない	３．できない

問８　過去１年間に転んだ経験がありますか。（○はひとつ）

１．何度もある	２．１度ある	３．ない

問９　転倒に対する不安は大きいですか。（○はひとつ）

１．とても不安である	２．やや不安である	３．あまり不安でない	４．不安でない

問 10　週に１回以上は外出していますか。（○はひとつ）

１．ほとんど外出しない	２．週１回	３．週２～４回	４．週５回以上

問 11　昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○はひとつ）

１．とても減っている	２．減っている
３．あまり減っていない	４．減っていない

問 12　外出を控えていますか。（○はひとつ）

１．はい　⇒　問 12－１へ	２．いいえ

【問 12 で「１.」と回答された方がお答えください。】

問 12－１　外出を控えている理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）

１．病気	２．障がい(脳卒中の後遺症など)
３．足腰などの痛み	４．トイレの心配(失禁など)
５．耳の障がい（聞こえの問題など）	６．目の障がい
７．外での楽しみがない	８．経済的に出られない
９．交通手段がない	10．その他（　　）

問 13　外出する際の移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１．徒歩	２．自転車	３．バイク
４．自動車（自分で運転）	５．自動車（人に乗せてもらう）	６．電車
７．路線バス	８．病院や施設のバス	９．車いす
10．電動車いす（カート）	11．歩行器・シルバーカー	12．タクシー
13．その他（　　）		

問 14　通院や買い物へ行くなど外出手段として、自家用車以外であるとよいと思うものは何ですか。（○はいくつでも）

１．循環バス・コミュニティバス

２．自転車の貸し出し（電動アシスト付き自転車を含む）

３．デマンドタクシー（乗り合いタクシー）

４．特殊車両（車イス等が乗せられる）レンタカー

５．その他（　　）

６．特にない

３　食べることについて

問 15　あなたの身長・体重を教えてください。（それぞれ数値を記入）

身長（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）ｃｍ　　体重（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）ｋｇ

問 16　半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○はひとつ）

１．はい　　２．いいえ

問 17　お茶や汁物等でむせることがありますか。（○はひとつ）

１．はい　　２．いいえ

問 18　口の渇きが気になりますか。（○はひとつ）

１．はい　　２．いいえ

問 19　歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○はひとつ）

１．はい　　２．いいえ

問 20　歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（○はひとつ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

１．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用　⇒　問 20－１、20－２へ

２．自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし　⇒　問 20－１へ

３．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用　⇒　問 20－１、20－２へ

４．自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし　⇒　問 20－１へ

問 20－１　噛み合わせは良いですか。（○はひとつ）

１．はい　　２．いいえ

【問 20 で「１.」「３.」と回答された方がお答えください。】

問 20－２　毎日入れ歯の手入れをしていますか。（○はいくつでも）

１．はい　　２．いいえ

問 21　６か月間で２～３kg 以上の体重減少がありましたか。（○はひとつ）

１．はい　　２．いいえ

問 22　どなたかと食事をともにする機会はありますか。（○はひとつ）

1．毎日ある	2．週に何度かある	3．月に何度かある
4．年に何度かある	5．ほとんどない	

4　毎日の生活について

問 23　物忘れが多いと感じますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 24　自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 25　今日が何月何日かわからない時がありますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 26　バスや電車を使って 1 人で外出していますか（自家用車でも可）。（○はひとつ）

1．できるし、している	2．できるけどしていない	3．できない

問 27　自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○はひとつ）

1．できるし、している	2．できるけどしていない	3．できない

問 28　自分で食事の用意をしていますか。（○はひとつ）

1．できるし、している	2．できるけどしていない	3．できない

問 29　自分で請求書の支払いをしていますか。（○はひとつ）

1．できるし、している	2．できるけどしていない	3．できない

問 30　自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○はひとつ）

1．できるし、している	2．できるけどしていない	3．できない

問 31　年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 32　新聞を読んでいますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 33　本や雑誌を読んでいますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 34　健康についての記事や番組に関心がありますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 35　友人の家を訪ねていますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 36　家族や友人の相談にのっていますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 37　病人を見舞うことができますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 38　若い人に自分から話しかけることがありますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 39　趣味はありますか。（○はひとつ）

1．趣味あり　⇒　具体的な内容（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2．思いつかない

問 40　生きがいはありますか。（○はひとつ）

1．生きがいあり　⇒　具体的な内容（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2．思いつかない

問 41　今の生活に満足していますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

5　地域での活動について

問 42　以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①～⑧それぞれに回答してください。（それぞれに○はひとつ）

	週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない
①　ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②　スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③　趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④　学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤　介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥　老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦　町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧　収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 43　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○はひとつ）

1．是非参加したい	2．参加してもよい
3．参加したくない	4．既に参加している

問 44　地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○はひとつ）

1．是非参加したい	2．参加してもよい
3．参加したくない	4．既に参加している

問 45　あなたは、健康づくりやスポーツ、趣味活動、ボランティア、サロンや集いの場に参加するため、次の施設を利用していますか。（○はいくつでも）

1．老人福祉センター	2．亀崎地域総合福祉センター
3．公民館・区民館	4．公園
5．小中学校のグラウンド・施設	6．民間のスポーツクラブ
7．総合型地区スポーツクラブ	8．プラチナカフェ（認知症カフェ）※
9．公共のスポーツ施設（運動公園、体育館、ふれあいプール、青山記念武道館等）	
10．地域ふれあい施設（フレンド乙川・さくらの家・岩滑ふれあいセンター・かりやど憩の家・有脇ふれあいセンター）	
11．亀崎ささえあいセンター（駅前ハウス）	12．その他（　　）
13．利用しない　⇒　問 45－１へ	

※認知症カフェ：認知症のご本人やご家族、地域住民、介護福祉の専門職や介護経験者が集い、認知症に関する相談や情報交換ができる場所

【問 45 で「13.」と回答された方がお答えください。】

問 45－１　施設を利用しない理由を教えてください。（○はいくつでも）

1．健康だから	2．自分なりの介護予防に取り組んでいるから
3．開催場所や内容を知らないから	4．興味を引くメニューがないから
5．他人と接するのが苦手だから	6．会場までの移動手段がないから
7．一緒に行く人がいないから	8．誘ってくれる人がいないから
9．仕事をしているから	10．主に自宅で過ごすから　⇒　問 45－２へ
11．その他（　　）	

【問 45―１で「10.」と回答された方がお答えください。】

問 45－２　あなたは自宅で何をしていますか。（○はいくつでも）

1．テレビを見ている	2．家事をしている
3．趣味活動をする（手芸、読書など）	4．家族の支援をする（介護、孫の守りなど）
5．お酒を飲んでいる	6．特に何もしていない
7．その他（　　）	

6　たすけあいについて

◆あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします◆

問 46　あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人をお答えください。(○はいくつでも)

1．配偶者	2．同居の子ども	3．別居の子ども
4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	5．近隣	6．友人
7．その他（　　）		8．そのような人はいない

問 47　反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人をお答えください。
（○はいくつでも）

1．配偶者	2．同居の子ども	3．別居の子ども
4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	5．近隣	6．友人
7．その他（　　）		8．そのような人はいない

問 48　あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人をお答えください。
（○はいくつでも）

1．配偶者	2．同居の子ども	3．別居の子ども
4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	5．近隣	6．友人
7．その他（　　）		8．そのような人はいない

問 49　反対に、看病や世話をしてあげる人をお答えください。(○はいくつでも)

1．配偶者	2．同居の子ども	3．別居の子ども
4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	5．近隣	6．友人
7．その他（　　）		8．そのような人はいない

問 50　家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
（○はいくつでも）

１．自治会・町内会・老人クラブ	２．社会福祉協議会・民生委員
３．ケアマネジャー	４．医師・歯科医師・看護師
５．地域包括支援センター・市役所	６．その他（　　）
７．そのような人はいない	

問 51　この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
同じ人には何度会っても１人と数えることとします。（○はひとつ）

１．０人（いない）	２．１～２人	３．３～５人
４．６～９人	５．10 人以上	

問 51－１　よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（○はいくつでも）

１．近所・同じ地域の人	２．幼なじみ	３．学生時代の友人
４．仕事での同僚・元同僚	５．趣味や関心が同じ友人	
６．ボランティア等の活動での友人	７．その他（　　）	
８．いない		

問 52　あなたの住む地域の方々が生活の支援をしてくれるとしたら、あったら良いと思うことは何ですか。（既に利用していることも含みます。）（○はいくつでも）

１．ごみ出し	２．掃除や洗濯
３．ちょっとした買い物	４．食事のしたく
５．食事の宅配	６．電球の取り換えなどの簡単な作業
７．安否確認や見守り	８．話し相手
９．庭の樹木の剪定（せんてい）や草取り・水やり	10．その他（　　）
11．特に依頼したいことはない	

問 53　生活の支援が必要な地域の方々に対して、あなたが協力できると思うことはありますか。（既に協力していることも含みます。）（○はいくつでも）

1．ごみ出し	2．掃除や洗濯
3．ちょっとした買い物	4．食事のしたく
5．食事の宅配	6．電球の取り換えなどの簡単な作業
7．安否確認や見守り	8．話し相手
9．庭の樹木の剪定（せんてい）や草取り・水やり	10．その他（　　）
11．特に協力できることはない	

問 54　半田市では中学校区ごとに「地域ささえあい計画」を策定し、地域のささえあいで安心して暮らせる地域づくりを進めています。この計画や取り組みを知っていますか。（○はひとつ）

1．知っている	2．知らない

7　健康について

問 55　現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○はひとつ）

1．とてもよい	2．まあよい	3．あまりよくない	4．よくない

問 56　あなたは、現在どの程度幸せですか。（○はひとつ）
（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点として、あてはまる点数に○をつけてください）

とても不幸										とても幸せ
０点	１点	２点	３点	４点	５点	６点	７点	８点	９点	10 点

問 57　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 58　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○はひとつ）

１．はい	２．いいえ

問 59　お酒は飲みますか。（○はひとつ）

１．ほぼ毎日飲む	２．時々飲む
３．ほとんど飲まない	４．もともと飲まない

問 60　タバコは吸っていますか。（○はひとつ）

１．ほぼ毎日吸っている	２．時々吸っている
３．ほとんど飲まない	４．もともと吸っていない

問 61　現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

１．ない	２．高血圧	３．脳卒中（脳出血、脳梗塞等）
４．心臓病	５．糖尿病	６．高脂血症（脂質異常）
７．呼吸器系の病気（肺気腫、肺炎等）	８．胃腸・肝臓・胆のうの病気	
９．腎臓・前立腺の病気	10．筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	
11．外傷（転倒・骨折等）	12．がん（悪性新生物）	
13．血液・免疫の病気	14．うつ病	15．認知症（アルツハイマー病）
16．パーキンソン病	17．目の病気	18．耳の病気
19．その他（　　）		

問 62　あなたが日常生活や健康のために必要なことは、行政や民間のサービスによって、概ね提供されていると思いますか。（○はひとつ）

１．そう思う	２．ややそう思う
３．どちらでもない	４．あまり思わない
５．全く思わない	

8　認知症について

問 63　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

1．はい	2．いいえ

問 64　認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○はひとつ）

1．はい	2．　いいえ

問 65　自分が認知症になったら、周りのひとに助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。（○はひとつ）

1．そう思う	2．ややそう思う
3．どちらでもない	4．あまり思わない
5．全く思わない	

問 66　認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか。（○はひとつ）

1．そう思う	2．ややそう思う
3．どちらでもない	4．あまり思わない
5．全く思わない	

問 67　今後、どのような認知症施策に重点を置くべきと思いますか。（○はいくつでも）

1．認知症のことを相談できる窓口

2．認知症への正しい理解を広める啓発活動

3．認知症の方を支援するボランティアの養成

4．家族の精神的身体的負担を減らす取組

5．介護サービスにあたる専門職の質の向上

6．認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援

7．若年性認知症の人に対する支援の充実

8．認知症の方を地域で見守る仕組みづくり

9．その他（　　）

９　かかりつけ医や人生最期に望む医療・ケアについて

問 68　あなたには「かかりつけの医師※」はいますか。（○はいくつでも）

１．いる	２．いない

※かかりつけの医師：体調の変化や健康について相談（受診）する、もしくは定期的な診療はないが健康診断や予防接種の際、いつも受診する医師（病院）のこと。

問 69　あなたには「かかりつけの歯科医師※」はいますか。（○はいくつでも）

１．いる	２．いない

※かかりつけの歯科医師：口腔の健康について相談（受診）する、もしくは３～６か月ごとの定期的な歯科健診を受ける歯科医師（歯科医院）のこと。

問 70　あなたは、ご自分が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか。（○はひとつ）

１．病院	２．ホスピス・緩和ケア病棟
３．老人ホームなどの福祉施設	４．高齢者向けのケア付き集合住宅
５．自宅（子供など家族宅も含む）	６．わからない

問 71　上記の問 70 について、誰かと話し合いをしていますか。（○はひとつ）

１．全くない
２．話し合ったことがある
３．話し合い、その結果を紙などに記載した

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、

１２月１６日（金）までにご投函ください。

令和７年度「在宅介護実態調査」（案）について

１．調査目的

在宅介護実態調査は、第１０期介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点も盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的としています。

本調査の結果は、第１０期介護保険事業計画の策定において、サービスの「量の見込み」を検討するための基礎資料とすることを想定しています。

2. 調査期間

令和７年１１月頃～令和８年３月

3. 調査対象

要介護等認定を受けており、在宅で生活している方

4. 調査方法

認定調査員による聞き取り調査

5. 調査件数

６００件

6. 調査項目

・家族や親族からの介護の頻度について
・主な介護者について
・主な介護者が行っている介護について
・介護を主な理由とし離職、転職について
・介護保険サービス以外の支援・サービスについて
・今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて
・現在抱えている傷病について
・主な介護者の勤務形態について
・主な介護者の現在の就労、働き方の調整状況について

7. 令和４年度実施内容

調査期間：令和４年１１月～令和５年３月

対 象 者：要介護等認定を受けており、在宅で生活している方

実 施 数：５９２人

在宅介護実態調査　調査票

被保険者番号〔＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿〕

【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】　（複数選択可）

１．　調査対象者本人
２．主な介護者となっている家族・親族
３．　主な介護者以外の家族・親族
４．調査対象者のケアマネジャー
５．　その他

A票　認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問１　世帯類型について、ご回答ください（１つを選択）

１．単身世帯　　２．夫婦のみ世帯　　３．その他

問２　ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（１つを選択）

１．ない　→　問8（裏面）へ
２．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない
３．週に１～２日ある
４．週に３～４日ある
５．ほぼ毎日ある
（２～５）　→　問3～問13へ

問３　主な介護者の方は、どなたですか（１つを選択）

１．配偶者　　２．子　　３．子の配偶者
４．孫　　５．兄弟・姉妹　　６．その他

問４　主な介護者の方の性別について、ご回答ください（１つを選択）

１．男性　　２．女性

問５　主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（１つを選択）

１．20 歳未満　　２．20 代　　３．30 代
４．40 代　　５．50 代　　６．60 代
７．70 代　　８．80 歳以上　　９．わからない

問６　現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

〔身体介護〕

１．日中の排泄　　２．夜間の排泄
３．食事の介助（食べる時）　　４．入浴・洗身
５．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）　　６．衣服の着脱
７．屋内の移乗・移動　　８．外出の付き添い、送迎等
９．服薬　　10．認知症状への対応
11．医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）

〔生活援助〕

12．食事の準備（調理等）　　13．その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14．金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15．その他　　16．わからない

問７　ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去 １ 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

１．主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）　２．主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
３．主な介護者が転職した　４．主な介護者以外の家族・親族が転職した
５．介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない　６．わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問８　現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

１．配食　２．調理　３．掃除・洗濯
４．買い物（宅配は含まない）　５．ゴミ出し　６．外出同行（通院、買い物など）
７．移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）　８．見守り、声かけ　９．サロンなどの定期的な通いの場
10．その他　11.利用していない

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問９　今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

１．配食　２．調理　３．掃除・洗濯
４．買い物（宅配は含まない）　５．ゴミ出し　６．外出同行（通院、買い物など）
７．移送サービス（介護・福祉ﾀｸｼｰ等）　８．見守り、声かけ　９．サロンなどの定期的な通いの場
10．その他　11.特になし

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 10　現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（１つを選択）

１．入所・入居は検討していない　２．入所・入居を検討している
３．すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11　ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

１．脳血管疾患（脳卒中）	２．心疾患（心臓病）
３．悪性新生物（がん）	４．呼吸器疾患
５．腎疾患（透析）	６．筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
７．膠原病（関節リウマチ含む）	８．変形性関節疾患
９．認知症	10．パーキンソン病
11．難病（パーキンソン病を除く）	12．糖尿病
13．眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	14．その他
15．なし	16．わからない

問 12　ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（１つを選択）

１．利用している	２．利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13　現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（１つを選択）

１．利用している	２．利用していない

● 問 13 で「２．」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

問 14　介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

１．現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	２．本人にサービス利用の希望がない
３．家族が介護をするため必要ない	４．以前、利用していたサービスに不満があった
５．利用料を支払うのが難しい	６．利用したいサービスが利用できない、身近にない
７．住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	
８．サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	９．その他

● 問２で「２．」～「５．」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に B 票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いしてください（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です）。

参考：令和４年度調査票

【«No.»】

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

問１　主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（１つを選択）

１．フルタイムで働いてい
２．パートタイムで働いている　→ 問2～問5へ
３．働いていない
４．主な介護者に確認しないと、わからない　→ 問5（裏面）へ

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問２　問１で「１．」「２．」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

１．特に行っていない
２．介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
３．介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
４．介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
５．介護のために、２～４以外の調整をしながら、働いている
６．主な介護者に確認しないと、わからない

★ 問３　問１で「１．」「２．」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（３つまで選択可）

１．自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
２．介護休業・介護休暇等の制度の充実
３．制度を利用しやすい職場づくり
４．労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
５．働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
６．仕事と介護の両立に関する情報の提供
７．介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
８．介護をしている従業員への経済的な支援
９．その他
10．特にない
11．主な介護者に確認しないと、わからない

問４　問１で「１．」「２．」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（１つを選択）

１．問題なく、続けていける
２．問題はあるが、何とか続けていける
３．続けていくのは、やや難しい
４．続けていくのは、かなり難しい
５．主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問５　現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（３つまで選択可）

〔身体介護〕

１．日中の排泄
２．夜間の排泄
３．食事の介助（食べる時）
４．入浴・洗身
５．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
６．衣服の着脱
７．屋内の移乗・移動
８．外出の付き添い、送迎等
９．服薬
10．認知症状への対応
11．医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）

〔生活援助〕

12．食事の準備（調理等）
13．その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14．金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15．その他
16．不安に感じていることは、特にない
17．主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。